

第2回「知事と一緒に生き活きトーク」の議事概要

- 1 テーマ：産業を振興して岡山を元気に！
- 2 日 時：平成25年2月5日（火）13：15～15：15
- 3 場 所：テクノサポート岡山 交流サロン
- 4 参加者：県外から岡山県へ立地した企業の代表者 6名
- 5 意見内容：

(1) 岡山県へ立地を決定した理由

- ・地震、津波、台風などの災害が少ないこと。温暖な気候であること。
- ・中四国の交通の結節点という交通・物流の利便性が高いこと。
- ・製造業における工業技術センター（設備・知見）のサポート力が高いこと。
- ・工業高校の多さ、岡山大学等の存在など優秀な人材確保面で優位性が高いこと。
- ・県・市町村を含めた補助額が大きかったこと。
- ・電力供給が安定していること。
- ・豊富なフルーツ産地であること。
- ・誘致に当たって県（職員）の熱意が大きかったこと。

(2) 立地又は操業に当たって助かったこと

- ・誘致担当部所による立地に係る事務手続面で丁寧なサポートがあったこと。
- ・行政で企業PRをサポートしてもらい、地元の優秀な人材が確保できたこと。
- ・環境関係の事務手続面で、企業側の事情に配慮した丁寧な対応が得られたこと。

(3) 立地に当たって支障となったこと、困ったこと

- ・高圧電線、ガスのパイプラインなど団地のインフラ整備が遅れていたこと。
- ・井戸水など利用できる工業用水の情報が少なかったこと。
- ・環境規制に関して、行政が定める規制値の根拠、考え方についてしっかり教えてもらい、お互いが理解し合える機会があれば良かった。
- ・リサーチパーク内に、ものづくり系企業の立地が少なく、情報交換の機会が少ないこと。規制の仕方かもしれないが、製造業の場合、量産試験は必要である。

(4) 県に期待すること

- ・県内にある企業のまとまった情報（業種、技術力、製品など）があったら良い。
- ・県内でサプライチェーンが確立すれば良い。単なるアウトソーシングではなく、信頼しあえる企業連携をサポートしてほしい。
- ・長期的な視点にたったインフラ整備（工場周辺の道路整備など）をしてほしい。
- ・企業ニーズに沿った技術的に特化した人材育成をしてほしい。
- ・地元大学生が修士課程などで、中小企業へ入り込み、企業を研究し実践するような取組があれば良い。
- ・中小企業が持つ技術力などの価値を評価し、生かす支援があれば良い。
- ・大和ハウスの取引企業では、端材など廃材が大量に発生している。中長期的な視点でエネルギー利用などを検討してほしい。
- ・行政に民地を含めた立地候補地の情報が集約されていれば良い。
- ・中心市街地から離れると車なしには生活できない。公共交通の利便性を向上させてほしい。住みやすさの向上も必要である。
- ・従業員のためのまとまった生活情報があれば良い。
- ・企業同士の交流がもっとあっても良い。